

vRealize Network Insight 5.2 リリース ノート

vRealize Network Insight 5.2 | 2020 年 4 月 14 日 | ビルド 1585846638

各リリース ノートで、追加および更新された機能をご確認ください。

リリース ノートの概要

本リリース ノートには、次のトピックが含まれています。

- [最新情報](#)
- [製品アップグレード](#)
- [ドキュメント](#)
- [VMware 製品の互換性](#)
- [VMware MIB ファイル](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

最新情報

ここでは、vRealize Network Insight 5.2 の主な機能について説明します。

NSX-T

- NSX-T 3.0 リリースとの相互運用性*。*詳細については、ナレッジベースの記事 [KB78492](#) を参照してください。
- NSX-T の健全性およびトラブルシューティング用の設定不要の追加イベント（Day 2 操作）
- 管理ノードおよびトランスポート ノード（ホストおよび Edge）用の設定不要の新しいダッシュボード

VMware Cloud on AWS

- VMware Cloud on AWS Direct Connect のサポート
 - VMware Cloud on AWS Direct Connect の vRealize Network Insight の高品質の検索機能
 - VMware Cloud on AWS Direct Connect を経由するフローの識別
 - トラブルシューティングのための仮想マシン間ネットワーク パスの VMware Cloud on AWS Direct Connect 部分

- ユーザー展開の Direct Connect コロケーション ルーターの可視化
- VMware Cloud on AWS Direct Connect ダッシュボード（プロパティ、構成、接続ステータス、フロー メトリック、BGP ルートの詳細を含む）
- VMware Cloud on AWS Direct Connect でのプロアクティブ アラート
- VMware Cloud on AWS SDDC ダッシュボードの強化
 - SDDC の概要セクションと SDDC エンティティ フロー接続ウィジェットの導入

VMware SD-WAN by VeloCloud

- アプリケーション フローをエッジリンクおよびビジネス ポリシーにマッピングすることにより、アプリケーションの可視化とトラブルシューティングを拡張
- パス（オーバーレイ）トンネルのスループットおよびパフォーマンス メトリックを表示することにより SDWAN オーバーレイの可視化を拡張
- SDWAN 分析のしきい値設定をアップストリーム/ダウンストリーム パケット ロス、ジッター、遅延、リンクアップタイムまで拡張
- SDWAN ビジネス ポリシーの新しいダッシュボードにルール、フロー、使用中/未使用のポリシーを追加
- SDWAN ゲートウェイの新しいダッシュボードに、このゲートウェイに関連付けられたオーバーレイ トンネルのスループットおよびパフォーマンス メトリックを追加

vRealize Operations Manager との連携

- vRealize Operations およびトラブルシューティング ワークベンチの vRealize Network Insight アラート
- vRealize Operations Manager から vRealize Network Insight へのコンテキスト起動
 - SSO（vIDM、LDAP）のサポート
 - 仮想マシン、ホスト、NSX-V、および NSX-T ダッシュボード

フローベースのアプリケーション検出

AI/ML アプローチを使用して、仮想マシン間のネットワーク トラフィックに基づいて、仮想マシンをアプリケーションと階層に自動的にグループ化します。

注: この機能は、vRealize Network Insight Cloud でのみ使用できます。

その他の機能強化

- IPFIX フロー収集用の Distributed Switch を個別に有効化
- データ ソースの証明書を手動または自動で受け入れ
- 管理者ロールおよびメンバー ロール以外の新しい監査者ロール（読み取り専用ロール）

- Check Point の NAT ルールのサポートを追加。Check Point NAT 展開の仮想マシン間パスの可視化で使用可能
- ユーザー定義イベントを作成、編集、削除、および一覧表示するための新しいパブリック API
- 保存された検索を削除する機能

製品アップグレード

vRealize Network Insight 5.2 は、5.1 および 5.0 バージョンからの直接アップグレードをサポートしています。

アップグレード オプションの詳細については、「[vRealize Network Insight のアップグレード](#)」セクションを参照してください。

アップグレード パスは、

https://www.vmware.com/resources/compatibility/sim/interop_matrix.php#upgrade&solution=285 に記載されています。

ドキュメント

新機能の詳細については、vRealize Network Insight のドキュメントを参照してください。

- [vRealize Network Insight のインストールアップグレード](#)
- [vRealize Network Insight の使用](#)
- [vRealize Network Insight の FAQ](#)
- [vRealize Network Insight コマンドライン インターフェイス ガイド](#)
- [vRealize Network Insight API ガイド](#)

注: vRealize Network Insight のドキュメントを使用する際には、VMware が多様性を尊重していることをご理解ください。お客様、パートナー企業、社内コミュニティとともにこの原則を推進することを目的として、当社では当社ドキュメント内のいくつかの用語を更新しました。

VMware 製品の互換性

[VMware 製品の相互運用性マトリックス](#)で、vRealize Network Insight と他の VMware 製品との互換性について説明しています。

VMware MIB ファイル

MIB の詳細については、「[MIB モジュールのリスト、名前、および SNMP OID のタイプの特定](#)」を参照してください。SNMP MIB モジュール ファイルは、ナレッジベースの記事 [KB1013445](#) からダウンロードできます。

解決した問題

- CSV レポートに、フローの IPSet およびセキュリティ グループが表示されません。
- クラスタ展開の一部のプラットフォーム ノードで LDAP または vIDM 構成への変更（新規作成または更新）が反映されず、その結果、ログインが失敗することがあります。
- VeloCloud Enterprise ダッシュボード、または [SD-WAN の展開] ウィジェットを含むいずれかのピンボードをエクスポートすると、空白の PDF が表示されます。しかし、[SD-WAN の展開] ウィジェット以外の任意のウィジェットを選択すると、PDF を生成できます。
- ユーザーがイベント通知を作成した後に、vRealize Network Insight 5.1 にアップグレードした場合、ユーザーはイベント通知を表示したり、既存のユーザー定義イベントを更新することができません。
- vRealize Network Insight 5.1 にアップグレードした後、データ ソースでデータが収集されません。
- データ ソース接続がコレクタから削除されても、ユーザー インターフェイスからコレクタを削除できませんでした。次のエラーが表示されます。
1 つまたは複数のデータ ソースがコレクタに接続されています。解除してください。
- NSX-T Manager の追加中に、コレクタの使用可能な容量が [コレクタ仮想マシン] ドロップダウン リストで [不明] となり、表示されない場合があります。
- Cisco Catalyst データ ソースの追加中に、ホスト名に en（たとえば、den-c_6-sw-oob-01）が含まれている場合、vRealize Network Insight はデータを収集できません。次のエラーが表示されます。
「データ ソースのエラーが発生しました」 および 「問題が発生しました。再試行するか、サポートにお問い合わせください」
- Arista スイッチに関する問題：
 - vRealize Network Insight は、物理ネットワーク デバイスのサブセットの VRF ルーティング テーブル情報を正しくプルせず、物理パス トポロジの視覚化を中断します。
 - Arista スイッチへの SSH 接続を使用した vRealize Network Insight データ収集は、ログイン 試行が失敗すると停止し、データ ソースを無効にして再度有効にするまで再試行しませ

ん。

- vRealize Network Insight DNS データのアップロードは、データ ソース情報のサブセットにのみ関連します。データ ソースから他のエンティティ情報が収集されることはありません。各データ ソースのスイッチ エンティティのみが名前にマッピングされ、データ ソースのルーター エンティティは IP アドレスを介してのみ使用できます。
- Cisco ASA スイッチを削除した後でも、次のエラーが表示されます。
異なる IP アドレスを持つ同じスイッチまたはルーターが追加されました。
- パスに Dell Z9100 スイッチが含まれている場合、パスは不明と表示されます。
- クラスタのすべてのコントローラが削除された場合も、vRealize Network Insight は表示されます。ただし、コントローラの構成データには、コントローラ データが表示されません。
- NSX Edge または外部ルーターから DLR ネットワークのイベントにアクセスできません。

既知の問題

- **New:** vRealize Network Insight 5.3 と VMware Cloud on AWS 1.12 を併用している場合、[インターネットへのパス] がポピュレートに失敗します。

この問題を回避または修正するには、VMware ナレッジベースの記事 [KB80359](#) を参照してください。

- **New:** PKS データソースのパスワードに &、(、)、|、<、>、` などの特殊文字が含まれている場合、vRealize Network Insight は Kubernetes クラスタを取得しません。
- **New:** vRealize Network Insight 5.1 からのアップグレード後、NSX-T のトポロジ図とその他の関連ページが正しく表示されません。

この問題を解決するには、vRealize Network Insight 5.2.0-P1 Patch を適用します。詳細については、ナレッジベースの記事 [KB78681](#) を参照してください。

- **New:** Firefox ブラウザを使用している場合、サマリ ウィジェットの情報の一部が表示されないことがあります。

この問題を解決するには、vRealize Network Insight 5.2.0-P1 Patch を適用します。詳細については、ナレッジベースの記事 [KB78681](#) を参照してください。

- **New:** 特定の SD-WAN のシナリオで、仮想マシン間パスがタイムアウトになります。

この問題を解決するには、vRealize Network Insight 5.2.0-P1 Patch を適用します。詳細については、ナレッジベースの記事 [KB78681](#) を参照してください。

- **New:** vRealize Network Insight をアップグレードした後に、アップグレードが発生した期間内のメトリック データにクエリを実行した場合、シリーズのすべてのメトリック ポイントで集計値が表示されないことがあります。
- **New:** vSphere 7.0 および NSX-T 3.0 のリリースで vRealize Network Insight を使用している場合は、WCP（ワークロード制御プレーン）および C-VDS が原因で、バージョン 5.1 および 5.2 の一部の機能が動作を停止します。詳細については、ナレッジベースの [記事 KB78492](#) を参照してください。
- ライセンスの計算中、vRealize Network Insight が vSAN 監視アプライアンスと HCX モビリティ エージェントを誤ってホストとして認識します。
- NSX-V 用に準備された ESX ホストで、特定の条件で **PSOD**（パープル スクリーン）が表示されることがあります。そのため、vRealize Network Insight 5.1.0 では、NSX-V データ ソースに関して、仮想インフラストラクチャの遅延の収集が無効になります。詳細については、[ナレッジベースの記事 KB75224](#) を参照してください。

注: NSX-T バージョンへの影響はありません。

- 機能のステータスが緑色であっても HostPrep FeatureUnhealthy イベントが終了しません。
- AWS アクセス キーの検証に失敗し、ユーザーはリージョンへのアクセスが制限されます。
- vRealize Network Insight は NSX-V から NSX-T への移動後、フローを正しく処理しません。

2 台の仮想マシン間のフローを検索したときに、結果が表示されません。ただし、仮想マシンの IP アドレス間でフローを検索すると、結果が表示されます。

- Amazon VPC ログをソースから 20 分の遅延で公開すると、AWS フロー データがしきい値ダッシュボードに表示されないことがあります。
- フローベースのしきい値設定アプリケーションで、異なるアプリケーションの階層間にメンバー（IP エンドポイント、仮想マシン、または Kubernetes エンティティ）の重複がある場合、他のアプリケーションの階層がそのしきい値設定のダッシュボードに表示されます。
- 違反領域がプレビュー スケール ウィンドウの外側にある場合、しきい値ダッシュボードに表示されないことがあります。
- アプリケーションに Kubernetes エンティティが含まれている場合、ソース アプリケーション フィルタまたはターゲット アプリケーション フィルタを使用していると、フロー の範囲のしきい値についてはフロー データが表示されません。

フローとして範囲を選択して、次のクエリを使用します。

範囲クエリ	集約タイプ
フロー タイプ = 'Internet'、汎用送信元アプリケーション = 'abc'	送信元階層
フロー タイプ = 'Internet'、汎用宛先アプリケーション = 'abc'	ターゲット階層
汎用送信元アプリケーション = 'abc'	送信元階層
汎用宛先アプリケーション = 'abc'	ターゲット階層
アプリケーション = 'abc'	送信元/ターゲット階層

- vRealize Network Insight は、以下のスイッチの追加を hmac-sha1-96、hmac-sha1、hmac-md5-96、hmac-md5 の各 SSH 認証モードのみでサポートします。
 - Nexus 5000
 - Dell Z9100、Dell OS10、Dell Force10 S6000
 - Cisco ASA、Cisco ASR/ISR
 - Catalyst 4500
 - Arista
 - Huawei
 - Brocade MLX シリーズ
- コレクタをバージョン 4.2 からアップグレードしていると、VMware SD-WAN フローの処理が自動でトリガされません。

VMware SD-WAN フローの送信前に、同じコレクタに vCenter Server を追加します。

注: vCenter Server は後で削除できます。

- ファセット フィルタが英語以外の言語で機能しません。
- アプリケーションを削除しても、そのアプリケーションの保護ステータスがマップビューに表示されます。
- 名前に ASCII 以外の文字が含まれているピンボードをエクスポートする際に、vRealize Network Insight の [PDF へのエクスポート] ウィンドウにファイル名が正しく表示されません。
- クエリ結果にフィルタを追加すると、フィルタに表示される数が近似値になります。
- **[自分の環境設定]** からホーム画面を設定した場合は、ページを更新して、ユーザー インターフェイスにこの情報を反映させる必要があります。

- Cisco ASA データ ソースを追加する際、サポートの連絡先へのメッセージが次のエラーとともに表示されます。

メッセージに必須フィールドが含まれていません: vendorId (Message missing required fields: vendorId)

- 論理サブネットまたは論理ルーターを作成すると、この要求を処理するために、新しい Edge 仮想マシンが動的に作成されます。この種類の仮想マシンのイベントが表示されます。
- 過去 2 日間の [セキュリティのプラン] ページをロードするのに、約 3 分かかります。コレクタ間でデータ ソースを移行してから約 24 時間の間は、クエリ実行中の応答時間が長くなります。これは、24 時間の間に 2 つの異なるコレクタから同じフローが報告、オープン、およびクローズされるためです。これにより、同じフローに対して複数のバージョンが作成されます。
- 複数の NSX Manager がデータソースとして追加されているときに、選択した範囲が NSX またはアプリケーションでネストされたセキュリティ グループである場合は、[PCI コンプライアンス] ダッシュボードのファイアウォール ルール セクションにルールが正しく表示されないことがあります。
- データセンターが最上位でなく、vCenter Server のフォルダ内に配置されている場合は、「**ホスト ネットワーク制御プレーンの不一致**」などの一部のイベントが発生しません。
- イベント検索用のリスト ビューには、選択した際にファセット数が不正確になることがあり、イベントが表示されなくなるという問題があります。
- プラントポロジ ウィジェットには、すべてのフロー、保護されたすべてのフローなどを選択するためのオプションがあります。**[すべてのフロー]** オプションが選択されている場合、Distributed Switch でキャプチャされたフローのみが表示され、NSX IPFIX でキャプチャされたフローは表示されません。これらのフローの保護ステータスは、保護または保護解除として分類されず、不明として分類されるためです。
- エンティティ ダッシュボードの [PDF へのエクスポート] 機能には、次の既知の問題があります。
 - NetFlow フロー図ダッシュボードで行った変更は、PDF に表示されません。
 - メトリック プロパティが PDF にエクスポートされません。
- NSX IPFIX からリバース パケットが報告されるため、特定の NSX IPFIX フローに不要なデフォルト ルールが適用されます。リバース パケットの状態になると、クライアントおよびサーバが反転し、反転した送信元と宛先の IP アドレスに従ってファイアウォール ルールが適用されます。

- 自動更新が一時停止になっている場合でも、自動更新カウンタが再起動され、誤ったデータが表示されたままになります。
- 仮想マシンにファイアウォール ルールがない場合は、VMware Cloud on AWS の仮想マシンにはデフォルトの接続方法が適用されます。
この場合、VMware Cloud on AWS SDDC のデフォルト ルールの認識に関する十分な情報が得られないため、ファイアウォール アイコンが VMware Cloud on AWS 側の仮想マシン間パスに表示されません。